

# キャリア教育だより



<第3号>

令和6年9月17日（火）

都立品川特別支援学校

校長 田島 忍

担当 キャリア教育部

板倉 克己

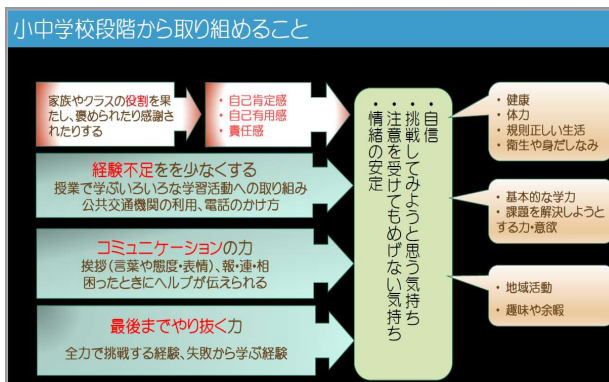


夏季休業中に「キャリア教育研修会」「施設見学会」「PTA 進路懇談会」がありました。  
今号ではその様子をお伝えします。

7月23日（火）キャリア教育研修会

キャリア教育の研修会では『学齢や実態に応じて、大切にしたいこと』をテーマに「キャリア教育とは」「小中学部期におけるキャリア教育」について若杉哲文先生に御講義していただきました。39名の教員が参加しました。

小学部低学年、高学年、中学部、高等部とそれぞれの時期にふさわしい活動や仕事、役割があると具体例を出しながらお話しいただきました。（松岡）



7月24日（水）30日（火）パソナハートフル企業見学

PTA主催のパソナハートフル企業見学会があり、7月24日（水）保護者10名、教員10名の計20名、7月30日（火）は保護者10名、教員2名の計12名で参加しました。

2022年9月に東京駅近くから、青山に移転したまだ新しい施設内を見学させていただきました。アート村工房、オフィス業務、パン工房など、実際に働いている方から仕事内容の説明をいただき、またとない機会となりました。見学後、副社長の白岩忠道氏より、「障害者雇用の現状」「パソナハートフルについて」「就労にあたって」などのお話をいただきました。終了後は、2階アート村SHOPで、パン工房で作られた焼き菓子やアート村アーティストの方の絵をモチーフにした商品や大きな絵画作品を見学するなど盛り多い一日となりました。（山田）

今後の予定

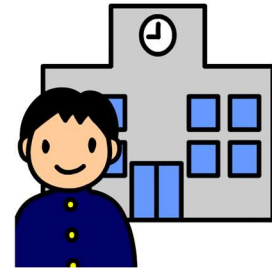
中学部3年就業体験 キリンビバレッジ 11月7日（木）

裏面もご覧ください

7月29日(月) PTA 進路懇談会

PTA進路懇談会を行い、小1～中3まで27名の保護者の方に御参加いただきました。

港特別支援学校の伊藤智規先生、大場 樹先生を講師にお招きし、『特別支援学校高等部の生活』『卒業後の進路について』講演していただきました。卒業後の進路について、具体的にケースのお話を交えていただき、講演終了後は、たくさんの方が熱心にメモを取りながら質問し、お答えいただきました。猛暑の中でしたが、アツイお話に、貴重な機会となりました。(山田)



7月30日(火) ぐるっぼ

教員向け施設見学を実施しました。教員18名が参加しました。「ぐるっぼ」の品川区立障害児者総合支援施設の相談支援課長様から各施設の概要や利用までの流れ、現状の利用状況について御説明を受けました。見学では、通常立ち入ることがない施設内を見学させていただきました。学校の教室以上に掲示物が豊かで温かい雰囲気伝わってきました。部屋名の掲示物では利用者の方の制作と思われるものもありました。また、夜間を過ごす部屋では、とてもシンプルなつくりで落ち着ける空間となっていました。手話講座を見学させていただきました。講座や施設利用は地域の方も参加できるものもあるとのことでした。就労継続支援(B型)では、カフェでは生き生きと接客している利用者の方々の姿がありました。生活介護施設では、社会人となった卒業生との再会もありました。(館田)

7月30日(火) 上池台障害者福祉会館

教員9名が参加しました。設置・運営者が大田区で、種別には「生活介護」「就労継続B型」「指定特定相談支援事業所」の3つがあり、多機能型施設として利用者一人一人の個性と可能性を大切にしている施設です。まず館内を見学し、作業場面やレクリエーションの様子を見学させていただきました。生活介護利用者のスペースでは、機械を使った「機械浴」の手順等を説明していただきました。以前に比べて入浴の負担は減ったということですが、細心の注意を払いながら入浴介助を行っているとのことでした。就労継続B型では、伝統のある革工芸品の作成や焼き菓子の作業工程等を見学し、巧緻性の高さに感心するとともに黙々と作業する様子がありました。

質疑応答では、「就労準備プログラム」があるが、職員の人員不足があるという切実な御意見を伺うことができました。また「虹まつり」が毎年秋に開かれ、利用者が地域の方と交流を深めているそうです。“わかりあい は ふれあいから”という言葉に深い感銘を受け、有意義な施設見学となりました。(板倉)